

児童室をのぞいてみよう♪

いろいろなコーナー紹介です

レインボー

～学校図書館との架け橋となるように～
小学生を対象に、春夏秋冬（年4回）1つのテーマを決めて色々なジャンルの本を集めてあります。絵本や小説、調べ物の本などなど、いつもは開かない分野の本を手にとってもらえるきっかけになることを願って、小学生向けの季刊誌として発行しています。

幼児絵本

短いストーリーのある絵本を、楽しめるようになった幼児向けの絵本コーナーです。「赤ちゃん絵本は卒業したけど、次は何を・・・？」という方に。



レインボーコーナーは、児童室中央南側です

季節のコーナー

季節にあわせて、子ども達のいろいろな行事に関連する本のコーナーです。本で季節を感じてみませんか？児童室の真ん中に設置してあります。

昔話

日本と海外それぞれの昔話の物語と絵本を集めてあります。人々が長い間に語りついできた昔話は、共有の知恵袋です。昔話には展開や結末がいろいろあることをご存知ですか？

緑のカーテンでさわやかに



5月末、2階のバルコニーにゴーヤとアサガオによる緑のカーテンを作りました。緑のカーテンは直射日光を遮り、植物が出す水分で室温を下げる効果があります。目にも優しく、からだにも優しいですね。

植えたゴーヤは暑さや病害虫に強く、一株でもたっぷり実が収穫できます。収穫したゴーヤは今年も「ゴーヤお話し会」でみなさんにプレゼントする予定です。



は～い！本！です！

配本センターだより

～つながるって なんだかうれしいね～

こんにちは！豊橋市民文化会館内にある“配本センター”です。

配本センター内の＜特設コーナー本＞の紹介をさせていただきます。今回は、「つながり」がテーマです。

児童書では、7月～9月末まで、「～つながるって なんだかうれしいね～」と題して、“かぞく”や“ともだち”などなどのつながりに関連する、絵本や物語の本を集めてみました。心つながるほっこりやほんわかを、本を通じて感じていただけたら・・・と思います。

そして一般書では、9月～11月末まで、線路1本で土地から土地へ、私たちのわくわくをつないでくれる「電車」をテーマに、本をご紹介します。鉄道大好き職員が、本を通してみなさんとおつながりができるよう、心待ちにしております。是非のぞいてみてくださいね。

本を通じて、これからもみなさんと図書館がずっとつながっていけるよう・・・また、豊橋市図書館100年の歴史を次の世代へつなげていけるよう・・・今後とも図書館を、どうぞよろしくお願いいたします。



ほっこり、ほんわか...あたたかな心のつながりを集めてみました



電車を通してつながる読書の旅をどうぞお楽しみください

図書館の今を伝える情報紙

LIBRARY NEWS

No.99

豊橋市図書館だより

第99号 平成26年8月1日

＜編集・発行＞

豊橋市中央図書館
〒441-8025 豊橋市羽根井町48 TEL.0532(31)3131

豊橋市配本センター
〒440-0862 豊橋市向山大池町20-1 TEL.0532(62)2944

図書館ホームページアドレス

<http://www.library.toyohashi.aichi.jp>

メールアドレス

admin@library.toyohashi.aichi.jp



平成26年5月時点



平成26年6月時点

大清水町に 地域図書館が オープンします！

平成27年4月、大清水町に地区市民館・地域図書館・窓口センターが一体になった複合施設がオープンします。コンセプトは「人と人をつなぎ 賑わいの輪が広がる 地域と共生する施設」です。現在、着々と建設が進んでいます。

図書館では蔵書の選定など、オープンに向けて準備を進めています。



施設全体のイメージ

..... 目 次

- P.2 【特別連載】図書館100周年記念誌番外編②
- P.3 特別整理休館 ご協力ありがとうございました
- P.4 児童室をのぞいてみよう♪
緑のカーテンでさわやかに
配本センターだより

公式ブログ&ツイッター好評配信中！

◆豊橋市図書館日記～library Diary～
<http://ameblo.jp/toyohashi-city-library/>



◆Twitter 公式アカウント
<https://twitter.com/tosho07288312>



図書館 100 周年記念誌番外編 ②

中村 光雄（元豊橋市図書館長・図書館 100 周年記念誌編集委員会委員）

図書館奉仕の目覚め、はじめての専任館長

豊橋市図書館の本格的な奉仕活動は昭和 23（1948）年、創立以来初の専任館長が置かれたときから始まった。目指した活動の方向は、2 年後制定された「図書館法」を一部先取りしたような新しいものだった。

初めての専任館長となった市川寛氏がまず第一に手がけたことは、館則を改め、図書館の運営に市民の声を反映させるため運営委員会を設けたことであった。奉仕活動では児童室を設け、市民の貸出や巡回文庫（のち貸出文庫から自動車文庫、そして配本所へと進化する）をはじめ、来館できる市民だけでなく、どこにいても図書館の本を利用できる活動を芽生えさせた。この芽は年ごとに育ち、大きくなっていった。



2代目図書館全景（西八町時代）

八町時代。 開拓の時代。

市川館長は市内杉山町の出身で旧制浪速高校教授。昭和21(1946)年まで、大阪市教育部長を勤められ、退任後豊橋に帰り、当時の市長に請われて図書館長に就任された。市川館長はその経歴

からうかがえるように学者らしい自由な考えと、一面行政官としての手腕を活かして、前記した館則や運営委員会を設け、少しずつ職員を増やした。そして職場の雰囲気自由なものと言える場とし、職員の創意を引き出し、活気をもたらしした。「図書館法」施行後始められた専門職育成の講習会には自ら参加し、夏の2か月間、図書館の宿直室に泊まりこんで、当時まだSLの時代であった東海道線で、2時間かけて名古屋大学まで通った努力家であった。

もう一人の館長

もう一人、長谷川博彦館長も特筆しておきたい。任期は昭和37(1962)年から昭和39(1964)年までと短かったが、就任時から図書館について猛烈に勉強し、果たすべき奉仕をかなり正確に学びとり、翌年にはそれを実行に移した。

長谷川館長は、初めて重点目標を持って読書普及と暮らしに役立つ図書館をめざした。具体的な奉仕活動として象徴的なのが豊橋・浜松読書交歓会であり、「仕事に役立つ図書館」や「小展観」（小さな展示会）であった。これらは後々続けられ発展していった。

一方事務管理の面では、図書館を社会教育課から独立させ、処務規則を定め、二係制※を採用し現在に至る事務管理を確立させた。

※二係制によって、以前は1つのグループであったが庶務係と奉仕係に分かれた。

館長を退任した後は、ある時は教育長として、またある時は市助役として、市民文化会館機能分化計画や中央図書館計画を強力に支援した。

【次回】図書館法のもとでの奉仕活動、読書普及…読むことが暮らしを変える



特別整理休館

ご協力ありがとうございました

毎年恒例の本の総点検。特別整理を今年は6月27日（金）から7月3日（木）の1週間をかけて行いました。この間、図書館を休館させていただき、利用者の皆様には大変なご不便をおかけしましたが、皆様のご理解、ご協力のもと、円滑に作業を行うことができました。以下に作業内容をご報告いたします。

図書館には日々多くの本（＝新しい情報）が入ってきます。そこで今ある本の状態や状況を点検して、利用者の皆様が本をより手に取りやすくするために、特別整理休館を設けさせていただいて作業を行います。図書館にある膨大な数の本を1冊1冊点検する大変な作業ですが、より良い図書館づくりのためには必要不可欠な作業です。

具体的には、①利用者の皆様が普段目に見えている棚（書架）から古くなったり、汚れがひどい本を選別（抜き取り作業）、②抜き取った本を図書館2階の書庫に移動（閉架書庫への繰り入れ作業）、そして、③不用になった本の処理（除籍作業）といった作業を行いましたが、今回の作業においては約 2800 冊を閉架書庫へ繰り入れ、約 900 冊を除籍対象としました。

なお、除籍された本は、年2回開催予定の除籍本リサイクルフェアで市民の皆様にご提供させていただくこととなります。毎回大変好評ですので、ご来館をお待ちしております。

特別整理休館最終日には、開館に向けて書架の清掃や整理整頓を行うとともに、7 月からのコーナー本も準備しました。利用者の皆様にとって親しみやすく使いやすい図書館であり続けられるよう、これからも努めてまいります。



2階へ移動する前に、3階へ1度集めます。多少古い本でも人気の本などは書庫には入れません



2階では、書庫から除籍候補の本を抜き取って集め、複数の目でチェックして除籍対象を決めます

～除籍本フェア～

と き：平成 26 年 9 月 20 日（土） 9：30～13：00

ところ：中央図書館 3 階 集会室

※詳しくは、館内掲示と図書館ホームページでお知らせします。